

新しい高松市総合計画の策定状況について

1 新しい総合計画の策定の目的

近隣6町との合併に伴い、市域や人口、行政制度など「新・高松市総合計画」策定の前提となった諸条件が大きく変化したことや、三位一体改革などを通じた地方分権の進展、少子・高齢社会の到来など、本市を取り巻く社会経済環境の変化を踏まえ、新たな市域の将来に向けた、主体的かつ計画的なまちづくりのための根幹的指針として、20年度を開始年度とする新しい総合計画を19年度中に策定することとしている。

2 計画策定の取組状況

(1) これまでの取組状況

平成18年6月に策定した総合計画策定要綱に基づき、新しい総合計画の策定作業を開始した。

計画策定段階から市民参画、市民との協働を進めるため、6月に公募市民や、各種団体、NPO、市職員などで構成する「高松まちづくり100人委員会」を設置し、5つのテーマについて、分科会に分かれ、自主的な運営のもとで、将来のまちづくりに対する研究・協議を行い、平成19年2月には同委員会から新しい高松のまちづくりについての提言が提出された。

また、7月から8月にかけて、合併地区市民意識調査（無作為に抽出した18歳以上の合併地区市民7,000人を対象）を実施した。

さらに、8月から10月にかけて、旧高松市域を対象に、地域ごとに、将来課題の整理や地域住民の意向・ニーズを把握するため、地域コミュニティ協議会へのヒアリングや地域別懇談会を実施したが、この間、9月市議会において、増田市長が勇退することを表明し、新しい総合計画の策定については、新市長に委ねられることとなった。

(2) 現在の状況

大西新市長の方針のもと、上記の調査結果等を踏まえる中で、基本構想素案の取りまとめ作業を進めている。

(3) 今後の総合計画策定に係るスケジュール

時 期	内 容
平成19年 6月 月上旬	基本構想素案作成
中旬	↓
下旬	・議員全員協議会 6月27日（基本構想素案） 6月議会
7月 月上旬	・パブリックコメント（7月～8月）
中旬	↓ ↑ ・地域審議会への説明 ・まちづくり戦略計画作成
下旬	・市民と市長の対話集会（市内23中学校区+男木・女木地区予定）
8月 月上旬	
中旬	↓ ↑ 基本構想原案作成
下旬	↓ ↑
9月 月上旬	・議員全員協議会（基本構想原案） 9月議会 ↑ ・総合計画審議会へ諮問
中旬	
下旬	↓
10月 月上旬	総合計画審議会開催（6回程度開催予定）
中旬	
下旬	
11月 月上旬	
中旬	↓ ↑ ・総合計画審議会から答申
下旬	
12月 月上旬	12月議会 ・基本構想の市議会への提案
中旬	↓
下旬	・基本構想の議決
平成20年 1月 月上旬	総合計画書作成
中旬	
下旬	
2月 月上旬	
中旬	↓
下旬	↓
3月 月上旬	3月議会
中旬	↓
下旬	